

昨日よりも貧酸素水塊がやや南下しました。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター

2010/08/05

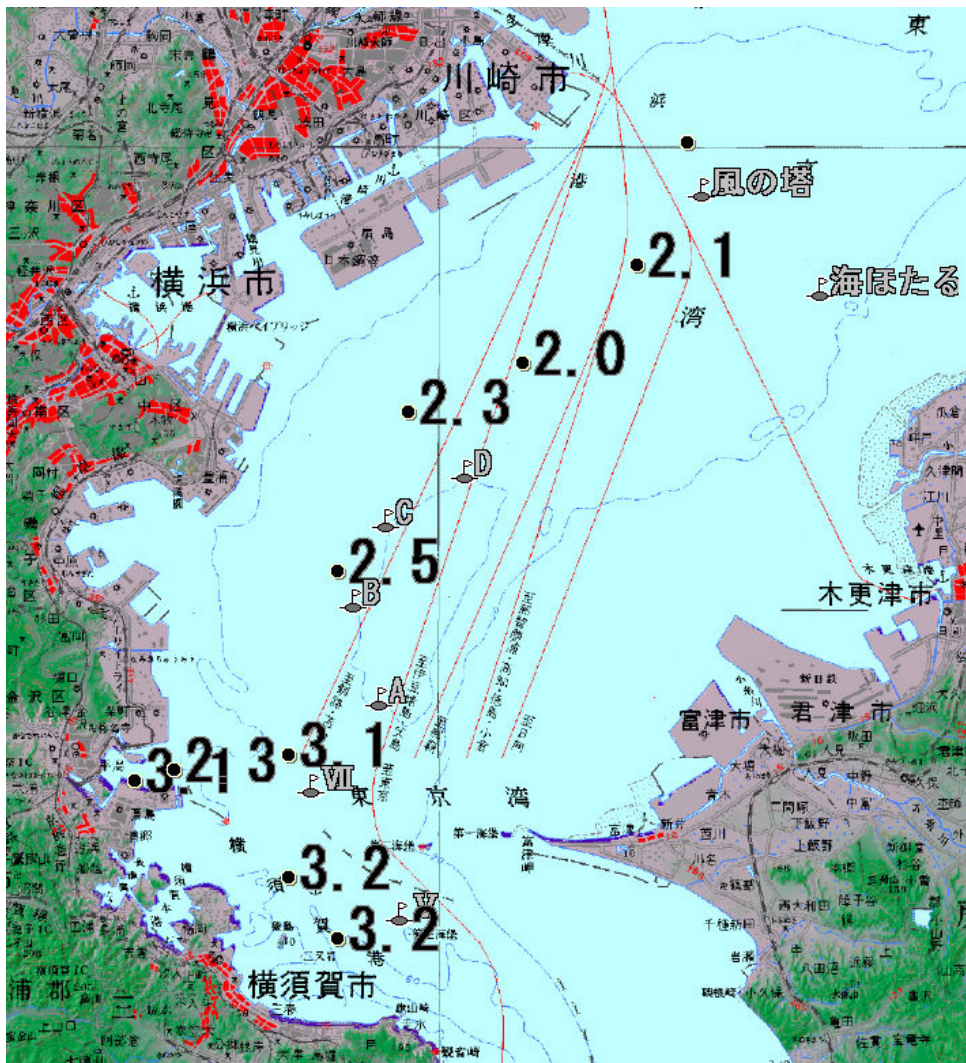
神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協金沢支所の
番敏丸により東京湾調査を実施しました。

○水温は、表層で26~28℃台、底層では17~18℃台です。南部海域で底層の水温が低めです。

○塩分は28~30台と低いですが、底層では34以上と高めになっています。外洋からの底層への高塩分水の波及です。

○貧酸素水塊(≦2.5ml/l)はBブイよりも北で見られました。Aブイの南では酸素量が高めです。

○八景島脇のあなご活け場の酸素量は、金沢支所分では十分にありましたが、柴支所分では深いところで貧酸素状態です。表層付近では、水温は高く塩分は低い状態です。



底層の溶存酸素量(ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部

電話 046(882)2313

上下の水温・塩分差があります。
漁獲物の取り扱いにご注意ください。